

## 一体型LEDベースライト スクエアタイプ 埋込型



施工説明書  
取扱説明書

保管用

(一般屋内用)

□600		格子タイプ 適合本体品番 NNFK (NNFKH) 45010	マルチコンフォート15 適合本体品番 NNFK (NNFKH) 45011
タイプ	光色	反射板付点灯ユニット品番	反射板付点灯ユニット品番
FHP45形 X 4灯相当タイプ	昼白色【5000K】	NNFK43460	NNFK43470
	白色【4000K】	NNFK43461	NNFK43471
	温白色【3500K】	NNFK43462	NNFK43472
	電球色【3000K】	NNFK43463	NNFK43473
FHP45形 X 3灯相当タイプ	昼白色【5000K】	NNFK43360	NNFK43370
	白色【4000K】	NNFK43361	NNFK43371
	温白色【3500K】	NNFK43362	NNFK43372
	電球色【3000K】	NNFK43363	NNFK43373
FHP45形 X 3灯節電タイプ	昼白色【5000K】	NNFK43260	NNFK43270
	白色【4000K】	NNFK43261	NNFK43271
	温白色【3500K】	NNFK43262	NNFK43272
	電球色【3000K】	NNFK43263	NNFK43273
□450		格子タイプ 適合本体品番 NNFK (NNFKH) 35010	マルチコンフォート15 適合本体品番 NNFK (NNFKH) 35011
タイプ	光色	反射板付点灯ユニット品番	反射板付点灯ユニット品番
FHP32形 X 4灯相当タイプ	昼白色【5000K】	NNFK33460	NNFK33470
	白色【4000K】	NNFK33461	NNFK33471
	温白色【3500K】	NNFK33462	NNFK33472
	電球色【3000K】	NNFK33463	NNFK33473
FHP32形 X 3灯相当タイプ	昼白色【5000K】	NNFK33360	NNFK33370
	白色【4000K】	NNFK33361	NNFK33371
	温白色【3500K】	NNFK33362	NNFK33372
	電球色【3000K】	NNFK33363	NNFK33373
【アレンジ調色】	【2700~5000K】	—	—
FHP32形 X 3灯節電タイプ	昼白色【5000K】	NNFK33260	NNFK33270
	白色【4000K】	NNFK33261	NNFK33271
	温白色【3500K】	NNFK33262	NNFK33272
	電球色【3000K】	NNFK33263	NNFK33273
□350		格子タイプ 適合本体品番 NNFK (NNFKH) 25010	マルチコンフォート15 適合本体品番 NNFK (NNFKH) 25011
タイプ	光色	反射板付点灯ユニット品番	反射板付点灯ユニット品番
FHP23形 X 4灯相当タイプ	昼白色【5000K】	NNFK23460	NNFK23470
	白色【4000K】	NNFK23461	NNFK23471
	温白色【3500K】	NNFK23462	NNFK23472
	電球色【3000K】	NNFK23463	NNFK23473
FHP23形 X 4灯節電タイプ	昼白色【5000K】	NNFK23360	NNFK23370
	白色【4000K】	NNFK23361	NNFK23371
	温白色【3500K】	NNFK23362	NNFK23372
	電球色【3000K】	NNFK23363	NNFK23373

- ・上記( )内は加工品番です。
- ・特注品の適合本体品番：FAHX7、FAHX30、FTE980D、FTE980DS、FTE981D、FTE981DS、NSR84L9、NSR83L9（以降、加工品番および特注品番の記載を省略します）。
- ・本照明器具はパナソニック製スクエアタイプ専用本体と反射板付点灯ユニットの組合せで性能を満足します。
- ・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

### 施工説明

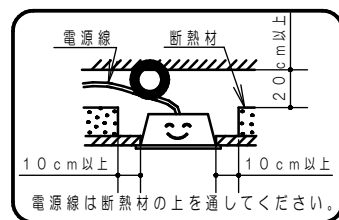
工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

### 安全に関するご注意



**警告**

- 反射板付点灯ユニットを単独で使用しない。必ずパナソニック製スクエアタイプ専用本体と反射板付点灯ユニットの組合せで使用する。落下・感電・火災の原因となります。
- 施工は、施工説明にしたがい確実に行なう。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 本体、反射板付点灯ユニットを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- LEDユニットのパネルは樹脂製のため、取扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- LEDユニットが破損した状態で使用しない。落下、感電、火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。火災の原因となります。
- 水平天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付はしない。落下・感電・火災の原因となります。



# 注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。（一部の食品や薬品、車の排気ガスには硫黄成分が含まれます。）光学性能に影響を与える場合があります。
- LEDユニットのパネルはポリカーボネート製のため、直射日光の当たる場所や蛍光灯が近接する場所などの紫外線の多い場所、ヘキサノンやアセトンなどの有機溶剤が使用される場所では使用しないでください。パネルの劣化・破損の原因となります。
- 器具の取付・取外しは手袋などの保護具を使用する。けがの恐れがあります。

## 施工上のご注意

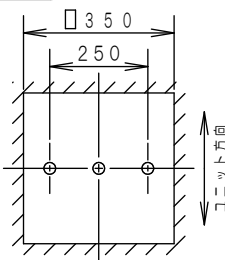
- ・コネクタ接続の際は、必ず電源を切ってから行なってください。LEDユニットの故障・短寿命の原因となります。万一、通電状態でコネクタ接続を行った場合、電源ユニットの保護回路（発振停止機能）によりLEDユニットは点灯しません。
- ・スイッチを接地側に取付けた場合、消灯後も薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側（電圧側）に取付けてください。（接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします。）
- ・T/U付6Aリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。詳細については、該当T/U付6Aリレーのカタログ・商品仕様書をご参照ください。
- ・起動方式“LA”の器具は、当社適合コントロールとの組合せにより、光出力を約10～100%に、変化させることができます。適合コントロールは当社製品をご使用ください。適合コントロールの注意事項については適合コントロールの説明書をご確認ください。
- 結線について
  - ・コントロールの結線は、コントロールの説明書をご確認ください。
  - ・電源線は低圧屋内配線工事、調光信号線は弱電流配線工事が必要です。
  - ・調光信号線は電源線と束ねないでください。誤動作の原因となります。
  - ・電線管をご使用の場合は、電源線と調光信号線を同じ管内に収納しないでください。

## 各部のなまえと取付方法

### 埋込穴・取付ボルト位置

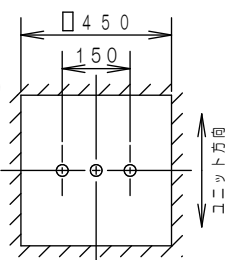
#### （□350タイプ）

- ・取付ボルトは、センター1本吊りまたはP=250 2本吊りとなります。



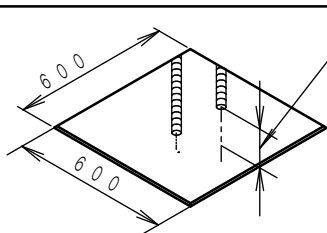
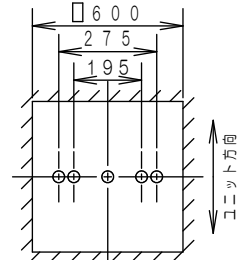
#### （□450タイプ）

- ・取付ボルトは、センター1本吊りまたはP=150 2本吊りとなります。



#### （□600タイプ）

- ・取付ボルトは、センター1本吊りまたはP=195 2本吊りとなります。



ボルト引込しろ

（格子タイプ）

	ボルト引込しろ
□350タイプ	65～75mm
□450タイプ	
□600タイプ	

（マルチコンフォート15）

	ボルト引込しろ
□350タイプ	95～105mm
□450タイプ	
□600タイプ	

### 1 取付前の確認

- ・器具質量（6.5kg：埋込×L384LWVの場合）に十分に耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。
- ・ボルトは極端な斜め出しにならないこと。不備があると器具落下の原因となります。

### 2 埋込穴の開口

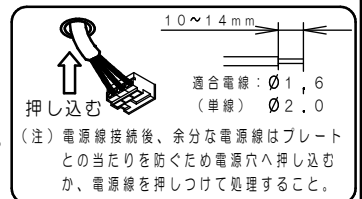
- ・埋込穴、取付ボルトを図のように用意しておく。

### 3 本体の取付

- ・電源線・アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- ・調光信号線を本体の信号用穴から引き込んでおく。（調光器具の場合）
- ・内部配線を傷つけないように取付ける。
- ・本体を取付ボルトに確実に取付ける。（推奨トルク：0.8N・m）（締め過ぎると器具・天井材が変形・破損する場合があります）
- ・ボルト1本吊りの場合、ダブルナットで取付ける。
- ・器具内線を座金やナットで挟み込んでいないか確認する。不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。

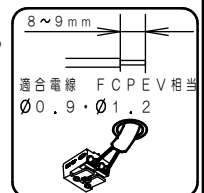
### 4 電源線・アース線の接続

- ・電源線、アース線を確実に差し込む。
- ・D種（第3種）接地工事が必要。
- ・端子台の容量は、20Aです。（送り機能付）



### 5 調光信号線の接続（調光器具の場合）

- ・「調光信号用」と表示のある端子台に接続する。
- ・調光信号線を確実に差し込む。
- ・調光信号線に極性はありません。
- ・端子台（調光信号用）の容量は15Aです。接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、正常に調光および調色できなくなります。

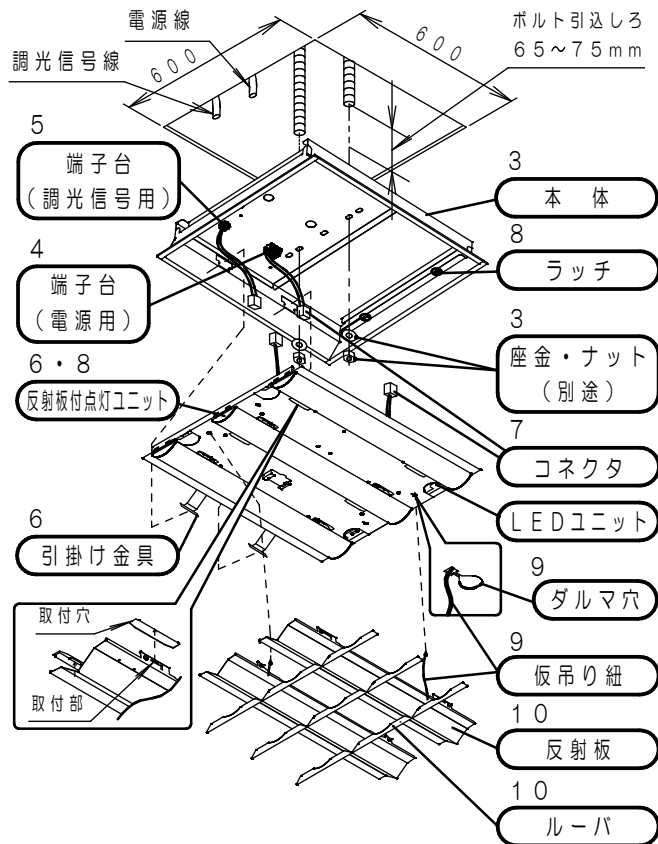


## 各部のなまえと取付方法（つづき）

### 警告

- 反射板付点灯ユニットの取付・取外しの際は必ず電源を切る。
- 施工は、施工説明書にしたがい確実にを行う。  
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

※XL384CBVの例で説明しています



### 6 反射板付点灯ユニットの引掛け

- ・反射板付点灯ユニットの引掛け金具を本体の角穴に確実に引掛ける。  
取付が不完全な場合、反射板付点灯ユニット落下の原因となります。

### 7 コネクタの接続

- ・コネクタを接続する。「カチッ」と音がするまで嵌め込んでください。

### 8 反射板付点灯ユニットの取付

- ・ラッチにて反射板付点灯ユニットを確実に取付ける。  
取付が不完全な場合、  
反射板付点灯ユニット落下の原因となります。



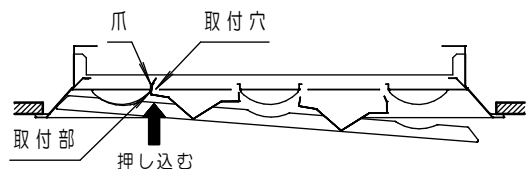
### 9 仮吊り紐の取付

- ・仮吊り紐を反射板付点灯ユニットのダルマ穴に引っ掛ける。  
(□600、□450の場合：2ヶ所 □350の場合：1ヶ所)  
取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

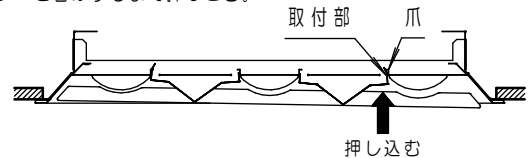
### 10 反射板の取付

- ・反射板の取付部を反射板付点灯ユニットの取付穴に下記のように差し込み、爪にはめる。  
取付が不完全（“パチン”と音がしない、ガタツキがある）な場合、反射板落下の原因となります。

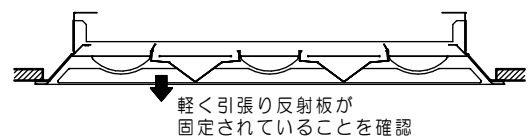
- ① 下図のように一方の反射板取付部を取付穴に差し込み手で押込んで取付部を爪にはめる。



- ② ①で押込んだ逆側の反射板取付部を“パチン”と音がするまで押しこむ。



- ③ ルーバを指で軽く引張り確実に取付いているか確認する。  
取付いていない場合は再度“パチン”と音がするまで押しこむ。



## 取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

- ・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全に関するご注意

### 警告

- 必ずパナソニック製スクエアタイプ専用本体と反射板付点灯ユニットの組合せで使用する。落下・感電・火災の原因となります。
- 本体、反射板付点灯ユニットを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- LEDユニットのパネルは樹脂製のため、取扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- LEDユニットが破損した状態で使用しない。落下、感電、火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがあるなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 反射板付点灯ユニットを取外す場合は、必ず電源を切る。感電の原因となります。

# 注意

- 反射板付点灯ユニット交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年※経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検交換してください。LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号：CLX2021HA) 点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

■ LED照明器具の光源寿命(※2)は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)  
 ※2：光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の85%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

## 使用上のご注意

- ・光源として高輝度LEDを使用しています。光源部(LEDユニット部)を長時間直視しないでください。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- ・LED素子にバラツキがあるため、LEDユニット内のLED個々、及び同一品番で発光色・明るさが異なる場合LA方式で調光・調色してご使用の場合
- ・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。予めご了承ください。
- ・反射板付点灯ユニットの品種により始動時間が異なる場合があります。
- ・光出力比(%)と目で感じる明るさ感には相違があります。
- ・コントローラと組合せて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。  
 同一器具または同一品番で点灯および消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。  
 低い調光域では段調光のように動作する場合があります。  
 適合コントローラ側のスイッチで消灯した場合、消灯後もLEDユニットが薄暗く発光する場合があります。  
 調光した状態でコントローラの点滅スイッチをすばやく操作した場合、100%点灯してから設定の調光状態になる場合があります。

## 保証について

- ・保証について.....この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について.....保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品の.....弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しております。保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

## お手入れ・反射板付点灯ユニットの取外し

### 警告

- ・器具の清掃について  
水または中性洗剤を用いて汚れた部分を軽く拭き取ってください。  
シンナー、ベンジンアルカリ系洗剤で拭かないでください。  
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

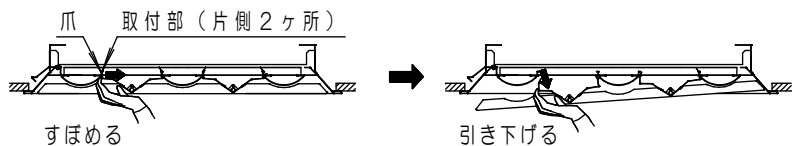
- 感電のおそれあり。お手入れ時は、必ず電源を切ってください。
- パネル破損のおそれあり。LEDユニットのパネルは樹脂製です。取扱いに注意してください。
- やけどのおそれあり。点灯中や消灯直後はLEDユニットやその周辺をさわらないこと。

(反射板付点灯ユニットの取外し方)

- ① 反射板を右図(※)の手順で取外す。
- ② 仮吊り紐をダルマ穴から取外す。
- ③ ラッチを解除し、反射板付点灯ユニットを取外す。

※反射板の取外し手順

反射板の取付部側を1ヶ所ずつ(全4ヶ所)すぼませ、引き下げる。



■ 定格 <LA9方式>

	FHP45形X4灯相当タイプ			FHP45形X3灯相当タイプ			FHP45形X3灯節電タイプ		
定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V
入力電流	0.76A	0.38A	0.31A	0.60A	0.30A	0.25A	0.42A	0.21A	0.17A
消費電力	76W	75W	74W	60W	59W	59W	42W	41W	41W

	FHP32形X4灯相当タイプ			FHP32形X3灯相当タイプ			FHP32形X3灯節電タイプ		
定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V
入力電流	0.50A	0.25A	0.21A	0.45A	0.22A	0.19A	0.33A	0.17A	0.14A
消費電力	50W	50W	50W	45W	44W	43W	33W	33W	33W

	FHP23形X4灯相当タイプ			FHP23形X4灯節電タイプ		
定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V
入力電流	0.34A	0.17A	0.14A	0.21A	0.10A	0.09A
消費電力	34W	34W	34W	21W	21W	21W

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>  
 0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月～土/9:00～18:00(祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX) Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)